

C-JDBC : Clustered JDBC

概 要

eビジネスを利用したときのパフォーマンスは、特に通常のワークステーションに一般のRDBMSドメインを用いる時には、データベースによって即座に決まってしまう。C-

JDBCはデータベースクラスタのミドルウェアであり、これによってどんなJAV Aアプリケーション（スタンドアロンアプリケーション、サーブレット、EJBコンテナ、など）もJDBCを通して一群のデータベースに容易にアクセスすることができる。

クライアントアプリケーションやアプリケーションサーバー又はデータサーバーソフトウェアを修正する必要はない。単にデータベースアクセスのすべてをJDBCを通して行うだけでよい。

C-JDBCは貴社データベースのティア（database tiers）によって、易拡張性（scalability）、高い有効性（availability）、誤作動に対する抵抗性（failover）を達成することのできる柔軟なアーキテクチャを提供するものである。C-JDBCは、RAIDb（Redundant Array of Inexpensive Databases）の基本的概念を具現化するものある。データベースはいくつもの結節点Nodeの間で分配・複製され、C-JDBCロードバランサーがこれらnode間の疑問点のバランスをとる。

C-JDBCは、フリーなオープンソースイニシャティブである。

特 徴

C-

JDBCはクライアントで使用される汎用JDBCを提供するものである。クライアントドライバーがSQLリクエストをC-

JDBCへ送ると、コントローラーが複製されたデータベースの群（クラスタ）上でそのリクエストのバランスをとる。

C-

JDBCは、JDBCドライバーを備えるどんなRDBMS、つまり現存する殆どすべてのオープンソースの商業用データベースにも用いることができる。

C-

JDBCによって、不均質データベースを含むどんなクラスタ構成をも作ることができる。

C-

JDBCの主要な特徴は、性能の拡張性、誤作動に対する抵抗性、高い有効性である。追加の特徴として、継続監視（モニタリング）、ロギング（logging）、

SQLリクエストの貯蔵性をあげる事ができる。
その構造は、カスタムリクエストスケジューラー、ロードバランサー、コネクションマネジャー、貯蔵方針 (caching policies)、などを誰でもプラグplugすることができるよう、広く公開され
2/2

ている。

documentation sectionで もっと C - J D B C
について検討し、コードをdownloadしてください。無料です。

どのように参画するか

C-

JDBCを改良及び/又は発展させるためのどんなご意見、個人的なご提案も歓迎いたします。オープンソースプロジェクトであるC-

JDBCは、外部の方の参画を歓迎いたしますので、ご興味があればどうぞusに連絡し、ご参加ください。

あわせて、developers' corner pagesもご覧下さい。
